

令和2年度「食から持続可能な社会の形成を考える学習会」
瀬波バイオマスエネルギープラントと瀬波南国フルーツ園の見学
終了報告書

令和3年3月19日
新潟県生活協同組合連合会

I. 委託内容

令和2年度1回目の学習会は、SDGsの7番目の目標に関わるエネルギーと12番目の目標に関わる食品残渣・ロスについての先進的に取り組む標記プラントとフルーツ園を見学しました。この施設で生産されるエネルギー並びに堆肥は、南国のくだものやコメの生産に活用されていることから持続可能な循環型社会やエシカル消費への関心を高めていただく機会になるものと企画しました。

以下学習会の結果について報告します。

実施にあたっては、新型コロナウイルス感染防止の観点から、募集人数を30名とし、3密を防ぐなどの感染防止対策を徹底して実施しました。

II. 企画内容

1. タイトル：令和2年度「食から持続可能な社会の形成を考える学習会」
瀬波バイオマスエネルギープラントと瀬波南国フルーツ園見学
2. 日 時：10月24日（土）午前8時15分～13時00分
3. 会 場：瀬波バイオマスエネルギープラント（完全循環型農業システム）と隣接の瀬波南国フルーツ園（株式会社 開成）
（村上市瀬波温泉 1-1175-42：TEL0254-66-8522）
4. 主 催：新潟県
5. 企画・運営：新潟県生活協同組合連合会（新潟県受託事業）
6. 参加対象者：募集定員30人：新潟県内在住の方、小学生以上（事前申込必要）
7. 参加者：29名（当日キャンセル1名）
8. 行事共済：有（主催者側で一括加入手続きをします。）
9. 学習テーマ：「瀬波温泉の旅館や村上市内の小中学校などから出る食品残渣を活用した発電及び肥料製造の施設見学とその肥料を活用したフルーツ園（パッションフルーツ）を見学」
10. 次第・スケジュール
10月24日（土）
* 新潟駅南口受付開始 8:00
① 新潟駅南口出発 8:15
② 新発田東公園 9:00
車中学習（エシカル消費について（食品残渣・循環型農業など））
③ 瀬波バイオマスプラント・南国フルーツ園着（10:00）
～バイオマスプラントの解説とフルーツ園内でパッションフルーツ農園について説明・学習（約1時間）
○解説者：須貝 卓也氏

○プラントで生産した堆肥を使用して育てたお米2合を参加者全員に試食用として提供いただいた。

- | | |
|--------------------------------------|-------|
| ④ 南国フルーツ園 発 | 11:00 |
| ⑤ ピカリ産直市場お富さん着
○パッションフルーツジェラートを試食 | 11:15 |
| ⑥ 道の駅 神林 | 11:30 |
| ⑦ 新発田駅前東公園着 | 12:20 |
| ⑧ 新潟駅南口着 解散 | 13:00 |

11. 費用：386,995 円（消費税込）

12. 学習会の内容

（株）須貝卓也氏から、近隣の小中学校及び温泉旅館から排出される食品残渣を使った再生可能エネルギー発電設備（メタン発酵ガスによる）の説明をいただき、食品残渣の現状と資源転換への仕組みを解説いただいた。プラントの隣にある南国フルーツ園内のパッションフルーツの栽培について解説いただいた後に関連施設の産直市場にてパッションフルーツのジェラートを参加者全員で試食いただいた。

13. アンケート結果（別紙アンケート結果参照）

アンケート結果から参加者全員が食品残渣の問題やエシカル消費について関心を深めていただいたことが伺える。

14. 効果

SDGsの12番目の目標“つくる責任つかう責任”に関して食品残渣、食品ロスへの対応は喫緊の課題になっているが、参加者には、普段焼却処分されてしまう資源を活用するプラントが県内に存在することを知っていただき循環型社会への関心を深めていただいた。捨てられるだけの食品残渣が堆肥になり電力にかわることに興味をもち、そこから生まれるお米やくだものの価値について理解いただき、エシカル消費の視点を持つことの重要性についても理解いただけたと思われる。

15. 課題

コロナ禍参加申し込み者が100名を超え参加いただけない方が多く出たことは残念であった。同じ企画を複数回実施しても良いのではと思いました。

16. 添付資料

- ①参加者名簿
- ②募集チラシ
- ③当日資料
- ④アンケート集約結果
- ⑤当日の様子（写真）



以上